

北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.40 2024.1.19 文責 上谷基博

1.17にキミは何を思う。

3学期が始まって2週目が終わろうとしています。もうすっかりペースはつかめましたか。まだまだ寒い日が続きます。体調を整え、感染症予防対策にも万全を期してほしいと思います。

17日(水)、阪神淡路大震災から29年。まだ生まれていなかったみなさんにはピンと来ないと思いますが、今年1月1日に発生した能登半島地震の衝撃は身を持って体感したことと思います。この日輪島の中学生約260人が遠く離れた場所に集団避難しましたが、輪島のある2人の中3生にまつわるエピソードが朝日新聞の朝刊に載っていましたので資料として先生方に提示しました。(担任の先生には震災について触れてもらうように言いましたが、方法は任せましたので、取り上げていないクラスもあるかもしれません...)。サッカーを通じて仲が良い2人ですが、一人は輪島に残り、一人は集団避難することを選びました。お家の人のアドバイス等もあったと思いますが、2人はそれぞれの「決断」をしました。「またサッカーやろうな」という見出しに熱いものがこみ上げてきます。この2人に限らず、この地域の中学生は「苦渋の決断」をしなければならなかったのです。みんなも自分に置き換えて考えてくれたものと思います。

2年生で講演会を行いました。

2年生では性の多様性についての学習を進めています。1月16日(火)午後、西村祐希さん(にっしゃん)を講師に『一人一人が自分らしく輝くために』というテーマで講演会を行いました。



トランスジェンダーであるにっしゃんは現在理学療法士ですが、以前は県内の中学校の保健体育の教員をされていました。お話がとっても上手で、自らの体験をもとにかなり踏み込んだ話をしてくださいました。2年生のみなさんも真剣に、でもどこかリラックスしながらお話を



聴いていたように思います。講演後に質問コーナーがあり、最後に手を挙げた人が「どんな世の中になったら良いと思いますか？」という超ステキな質問をしました。その質問に対するにっしゃんの答えは「どの人も自分らしさ全開で輝けるような社会です。」上谷にとってとても元気になる講演会でした。

翌日ある2年生の保護者の方にお目にかかった時、「先生、昨日の講演会とてもはすごく良かったって言ってました。」と言って下さいました。このような企画を下された先生方に感謝するとともに、忙しい中、本校に足を運んでくださったにっしゃんに感謝します！！

1年生は体験学習を行いました。

1月18日(木)、1年生は体育館で障がい者疑似体験を行いました。「白杖体験」「車椅子体験」、装具をつけることでからだを動きにくくした「高齢者体験」この3つをローテーションしながら体験しました。3.4時間目の1-1.1-2の様子を観にいきました。慣れない状態に戸惑いながら、一生懸命疑似体験していました。今回の体験は「どんな状態なのか」を実際に感じてみることもありますが、困っている人に「どのよう



に声をかければいいのか」「どのように介助すればいいのか。」を考え、実際にやってみることに大きな意味があります。1月の文化鑑賞会で田川ヒロアキさんが困っていたら声をかけて、相手がどのような援助を求めているかを聴いてほしいという趣旨のことをおっしゃってましたよね。「これが正解！」

ということではなく、人によって求めていることは違うはずです。今回の体験で、いろんなことを考えてくれたと思います。みなさんには社会に貢献できる人になってほしい。今回の学習が、実生活の中で必ず役に立つ時が来ると思います。できれば躊躇(ちゅうちょ)せず、困っている人にそっと寄り添える人であってくださいね。なお、活動の様子を田川さんに伝えておきました。

にっしゃんからのメッセージ

そのままのみんなで良い。
ありのままの一人一人が素晴らしい。
まずは自分を一番大切に！！
人生の主役は自分自身！！
自分らしさ全開で輝け！！

